

事業評価調書（新規）

部課室名	水産課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	水産課長 大谷 和夫 (課長補佐兼漁場整備係長) (高木 英男)	内線	4149 (4163)
------	-----	---------------------	--	----	----------------

事業種目	漁場整備開発	事業名	事業区間	総事業費	約4億円	
		増殖場造成事業	但馬地区	内用地補償費	- 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
但馬沖合				H19	H19	H20
事業目的			事業内容			
<p>但馬地区は、浅海域が狭く、天然礁にも恵まれな いため、漁場が少なく、沖合漁業を基幹漁業として発 展して来た。</p> <p>しかし、200海里時代の到来や、外国漁船の違法 操業により、水産資源の減少が懸念されている。</p> <p>沖合漁業の最重要魚種であるズワイガニ資源の維 持・増大を図るため、水深が約270mの海域に魚礁 を設置し、産卵雌ガニの保護・餌場を目的とする増殖 場の造成を行う。</p>			<p>対象生物：ズワイガニ</p> <p>事業量： 400ha (コンクリート礁 164基) (鋼製石詰礁 16基)</p> <p>事業費内訳：国50%、県50%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>ズワイガニは、但馬の全漁獲金額の3割以上を占める最重要魚種であり、漁業、水産加工業にとって欠かせない産物であるとともに、観光業にとっても極めて重要であり、当該魚種の資源水準の安定・向上は地域経済活性化のための重要課題である。</p> <p>ズワイガニの漁獲量は平成10年以降1,000トン台を維持しており、平成初期に300トンまで落ち込んだ最悪期は脱したものの、昭和40年代の4,000トン台の水準と比較すると依然として低位であり、資源の維持増大が求められている。</p> <p>近年、但馬の水産業は、漁業生産量、漁業生産金額ともに低下しており、漁業経営は苦しい状況にある。</p> <p>このことから、最重要魚種であるズワイガニの増産により漁業経営の安定を図ることは地域経済活性化への貢献が大きい。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>当事業の実施により、年間の漁業生産量は11トンの増加が見込まれることから、費用便益比は2.95と算定され、有効な事業である。</p> <p>また、増殖場はズワイガニ資源の増大効果の高いことが実証されているため、漁業者の事業実施要望は強く、漁協、町の事業実施に関する協力体制も確立している。</p>					
(3)環境適合性	<p>増殖場の造成は、生態系の保全、資源の増強にとって非常に有効である。</p>					
(4)優先性	<p>ズワイガニは、水産業のみならず地元民宿等の観光産業にも重要な魚種であり、ズワイガニの増産は、地域経済全体の活性化への貢献が期待される。</p>					